



令和5年(2023年)
8/20
第1590号

市報

こだいら



ふるべー



生活状況アンケートにご協力を……………2面
胃がん・大腸がん検診……………3面
9月28日(木)・29日(金)
こだいら介護予防まつりイン中央……………4面
整体ヨーガ教室……………7面

関東大震災から100年 大地震に備えて 今からできること

今年は、1923年(大正12年)に発生した関東大震災から、100年の節目に当たります。国の地震調査委員会によると、30年以内に南関東域でマグニチュード7クラスの首都直下地震が発生する確率は、約70%と言われています。大地震に備えて今からできることをしませんか。

問合せ 防災危機管理課 ☎042(346)9519



1923年関東大震災 黒煙の中の日比谷交差点
東京都復興記念館所蔵
※この画像は一部改変されたものです。

想定される地震の被害

令和4年5月に、東京都防災会議で「首都直下地震等による東京の被害想定」が見直されました(右表)。市では、震度6強程度の揺れが想定されています。また、ライフラインの復旧にかかる日数は、電気が約1週間、ガスは約6週間、水道は約1か月かかるとされています。

自宅の安全が確認できる場合は 在宅避難にご協力を

在宅避難とは、災害時に自宅で避難生活を送ることです。避難所には、収容人数に限りがあるため、すべての方を受け入れることができません。自宅倒壊や火災などの危険がなく、安全に生活できる場合は、在宅避難をお願いします。



令和4年に公表された小平市の被害想定		
想定地震	多摩東部直下地震 冬の18時	立川断層帯地震 冬の18時
地震の規模	M7.3	M7.4
震度	6強、6弱	6強、6弱
建物全壊(建物半壊)	962棟(2,955棟)	937棟(2,830棟)
焼失建物 (倒壊建物含まず)	1,855棟	1,288棟
死者	84人	70人
負傷者 (うち重傷者)	1,169人 (181人)	1,011人 (150人)
避難者数	29,054人	23,301人
電気の停電率	8.0%	7.4%
ガスの供給停止率	59.2%	26.9%
上水道の断水率	16.6%	14.1%

東京都防災会議 令和4年5月「首都直下地震等による東京の被害想定」より

避難所に行かない避難の方法 在宅避難への備え

ふだんからできる、在宅避難をするためにできることを紹介します。

家の中を安全に

地震では、棚が倒れる、食器や窓ガラスが割れるなどの被害があります。家具類を固定したり、配置を変えるなどの工夫をしましょう。



転倒防止器具で棚を固定、飛び出し防止器具の設置



飛散防止フィルムを貼る



家具の配置を変える

防災・災害情報の確認

災害時には、避難情報や避難所の開設情報など、さまざまな情報が配信されます。最新情報を入手できるように準備をしておきましょう。

▷小平市ホームページ

▷小平市メールマガジン
(こだいらNEWS)

▷小平市公式ツイッター
アカウント名…プチ田舎 東京都小平市

▷小平市公式LINE
アカウント名…小平市

▷東京都防災マップ

災害時、避難所の開設状況などが地図で確認できます。



東京都防災マップ

▷防災行政無線

地震・集中豪雨などの緊急性が高い情報を発信します。

放送内容は、放送から一定時間、電話で確認できます。

電話番号
自動音声応答サービス
042(341)0793



日常生活で使うものを多めに買って消費する 回転備蓄を

災害時は、電気、ガス、水道などのライフラインや物資の供給が止まる可能性があります。食料品や生活必需品を、最低3日分、できれば1週間分を備蓄し、古いものから消費しながら買い足す回転備蓄で備えましょう。



備蓄品の一例

- ▷飲料水(1人1日3リットル)
- ▷簡易トイレ(1人1日6回目安)
- ▷マスク、体温計、消毒用品(アルコール・ジェルなど)
- ▷ペーパータオル、ウェットティッシュ、ハンドタオル
- ▷おむつ、生理用品などの衛生用品
- ▷携帯電話用充電器、通信機器用のバッテリー
- ▷懐中電灯、充電式ラジオ、カセットコンロ、ヘルメット



※詳しくは、小平市ホームページ(ID3398)をご覧ください。

自主防災組織の結成を

自主防災組織とは、地域住民が協力して、「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的に、日ごろからさまざまな活動を行う組織です。

平常時には災害に備えた取り組みを行い、災害時には、応急活動などを行います。

自主防災組織は、10世帯以上から登録できます。登録方法や補助金など、詳しくは小平市ホームページ(ID2671)をご覧ください。

